

■アクションプランについて

【実施状況】○：着手、△：調整中

メニュー		実施状況	事業内容等
①子どもが創る明るい未来	1	児童・生徒の学力向上	○ 英語教育推進事業 1,133千円 学力向上支援事業 2,996千円
	2	子ども基金の創設	○ 奨学支度金制度を新設
	3	子ども食堂の創設	○ 子どもの居場所づくり事業 113千円
	4	保育機能の充実	○ 平成29年度中に町内保育施設で体調不良児型病児保育を実施する。
	5	みんなで支える子育て環境の充実	○ 子ども家庭医療費助成（拡充分） 2,498千円 子育て・家庭教育支援事業 4,348千円 子育て支援金（入学祝金）事業 5,000千円
	6	児童・生徒の安心安全の強化	○ 防犯カメラ設置事業 2,611千円
	7	子育てママパパ広場の創設	○ 子育てつながり支援事業 2,395千円
	8	いじめホットラインの開設	△ 担当所管課の検討
②安心して生きていく未来	9	高齢者が見守りあう仕組みづくり	○ 地域福祉活動支援事業（社協運営補助事業） 1,200千円 地域福祉計画推進事業 773千円 生涯現役社会推進事業 489千円
	10	高齢者同士の移動を支える仕組みづくり	○ 地域福祉活動支援事業 1,200千円（再掲）
	11	住み慣れた地域で支える健康	○ 地域福祉活動支援事業 1,200千円（再掲） 介護予防普及啓発事業（介護予防事業費） 2,575千円 地域ケア推進事業（包括的支援事業・任意事業費） 256千円
	12	町内高齢者かかりつけ医・歯科医の指定	△ かかりつけ医の状況調査の実施
	13	訪問看護ステーションの設置	○ 平成29年4月訪問看護ステーション設置予定
	14	訪問診療の実施	△ 国保診療所が在宅療養支援診療所の指定を受け、訪問看護ステーションと連携し訪問診療を実施
	15	健全な在宅医療の推進	△ 他の民間の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションと連携した「治し支える医療」の実施
	16	地域福祉団体との連携の強化	△ 社会福祉協議会を通じて新たな仕組みづくりの検討
③土地とともに生きる未来	17	ダイオキシン汚染物の完全無害化	△ 豊能町内でダイオキシン汚染物の無害化処理方法と処理場所の調整
	18	農業の起業化促進	△ 物産センターに流動化推進部門と営農部門の増設
	19	物産センターの販路拡大	△ 売り場面積の拡大による新たな商品の販売
	20	けやきの里周辺整備	○ 観光拠点施設等整備事業 6,200千円
	21	再生可能エネルギーの有効活用	△ 木質バイオマス、小水力発電の検討
	22	地域住民による地域整備の促進	○ 町道等除草事業 5,970千円 町道等維持原材料支給事業 3,000千円
	23	危機管理体制の充実	○ 公共施設再編事業 10,000千円
	24	里山・歴史を活かした観光の充実	○ 観光拠点施設等整備事業 6,200千円（再掲）
	25	獣害対策の充実	○ 獣害対策事業 6,615千円 ※別途、国庫事業を申請中
④はたらく明日を描く未来	26	企業立地促進のための課税制度の創設	△ （仮称）能勢町企業立地促進条例の検討
	27	町民雇用促進のための雇用奨励金制度の創設	△ （仮称）能勢町企業立地促進条例の検討（再掲）
	28	「半農半X」の支援	△ 新規就農者家賃助成事業の検討
	29	定住支援制度の拡充	○ 浄化槽設置整備事業 7,582千円。今後、住宅支援制度の検討。
	30	食品、カフェ、宿泊事業者の連携支援	○ 観光Web通信として能勢町フェイスブックにおいて、能勢の魅力を随時掲載。（平成29年1月から実施済）
	31	観光ジャーナル創刊	○ 観光Web通信として能勢町フェイスブックにおいて、能勢の魅力を随時掲載。（平成29年1月から実施済）（再掲）
	32	職員の地区担当制の実施	○ 地域担当職員制度要綱を策定し、平成28年12月より実施済
	33	地域経済の循環	○ 平成29年4月から広報を活用した事業所PR、ハローワークと連携した求人情報の発信等を実施